

脱炭素社会への道筋

カーボンニュートラルへの潮流

世界的に脱炭素化の流れが加速する中、港湾は物流・産業の重要拠点として、環境負荷低減と経済成長の両立が求められています。



国の方針

2050年カーボンニュートラル宣言、2030年度に温室効果ガス46%削減目標（2013年度比）



島根県の方針

島根県環境総合計画：2030年度までに39%以上削減、2050年までに排出実質ゼロ目標



浜田市の方針

2050年ゼロカーボンシティ表明（2022年9月）、2030年度までに52%削減目標

なぜ今、港湾の脱炭素化が重要か

燃料バージ船更新のタイミングは、**国の支援制度を活用**しながら持続可能な港湾インフラへと転換する絶好の機会です。この好機を逃せば、10年以上次の機会を待つことになります。

カーボンニュートラルポート(CNP)構想

脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化

水素・アンモニア等
受入環境整備

脱炭素化に配慮した
港湾施設

船舶への
陸上電力供給

荷役機械・
運搬車両の電化

再エネ導入
(洋上風力等)

デジタル物流
システム導入

出典：国土交通省 カーボンニュートラルポート（CNP）の形成

1

世界的潮流

欧州を中心に港湾のグリーン化が急速に進行。環境対応が国際競争力の鍵に

2

浜田港CNP計画（2025年3月策定）

島根県が策定済み。荷役機械の低炭素化、船舶への陸上電力供給等を計画

3

浜田港の選択

燃料バージ船更新を契機に、未来を見据えた脱炭素型インフラへの転換が必要

ゼロエミッション船等の建造促進事業

国土交通省と環境省が共同で推進する、次世代エネルギー源による船舶建造を支援する補助金制度です。

対象となる推進エネルギー源

水素・アンモニア・LNG・メタノール・電力（バッテリー）

- ✓ **補助対象**：エンジン、燃料タンク、燃料供給システム等の関連船用機器及びそれらの生産設備
- ✓ **実施期間**：令和11年度末までに事業終了が必要
- ✓ **浜田港での活用**：LNGバンカリングバージ（給油船）は最有力候補

補助率	適用条件
1/2以内	中小企業等
1/3以内	大企業

補助金申請フロー



公募・応募

jGrantsシステムで応募



審査・採択

審査委員会による評価



交付申請・交付決定

交付規程に基づき申請



事業実施・完了

実績報告後に補助金支払い